

布にボンドをつけて
ボタンをつぶんでとめるだけ
すぐにできちゃう
くるみボタン

フラットタイプ　ふんわりタイプ



キルト編みにします



クロバーの布補修ボンド
ソーメニュー くるみボタンなら
簡単につくれます！

準備するもの

○くるみボタン 1個に必要な分量の布地

【フラットタイプのくるみボタン】

11mm のボタン…布地 直径 23mm
15mm のボタン…布地 直径 31mm
18mm のボタン…布地 直径 38mm
22mm のボタン…布地 直径 42mm
28mm のボタン…布地 直径 48mm

【ふんわりタイプのくるみボタン】

△キルト綿は厚さ 3mm 程度のもの
18mm のボタン…布地 直径 44mm
キルト綿 直径 18mm
22mm のボタン…布地 直径 48mm
キルト綿 直径 22mm
28mm のボタン…布地 直径 54mm
キルト綿 直径 28mm

○布補修ボンド

あれば便利なもの

○目打（または細目打）
※つまようじでも代用できます

作る前にご確認ください

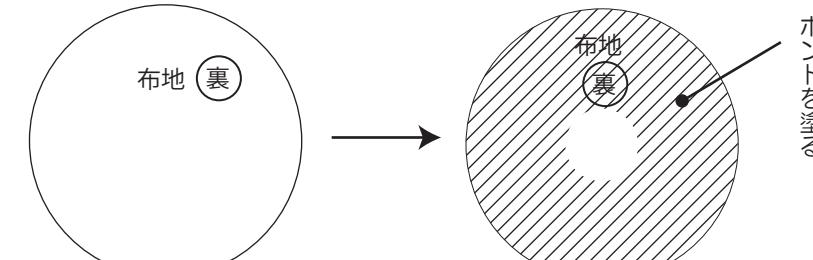
○使用する布地にボンドが浸み出さないか、
共布でお試しください（浸み出しのない
布地をご使用ください）

作る時の注意

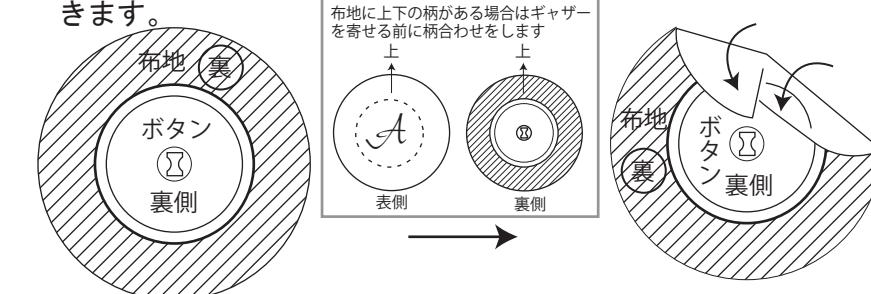
○布地にボンドを塗る時は下敷きとして白い紙
を敷いて塗ってください
○目打についてボンドは、使用後に布やティッシュ
ペーパーできれいに拭き取ってください

【フラットタイプのくるみボタン】

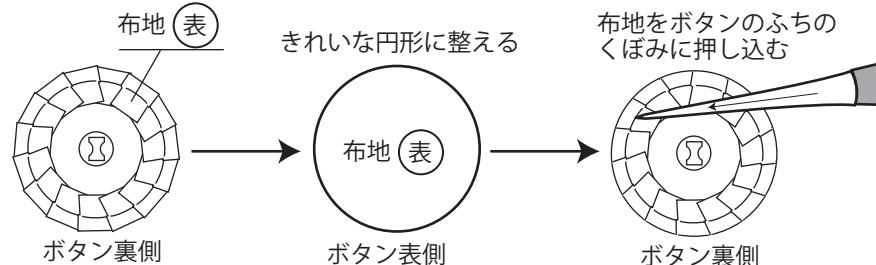
- ① ボタンのサイズに合わせて、必要な分量の布地をカットします。布地を裏向けにし、中心部分を少し空けてボンドを薄く均等に塗ります。（斜線部分がボンドを塗る部分です。ボンドを塗る時は紙を敷いてください）



- ② ボタンの本体を裏向けにして、ボンドをつけた布地の中心に置きます。まわりから布地にギャザーを寄せてボタンを包んでいきます。

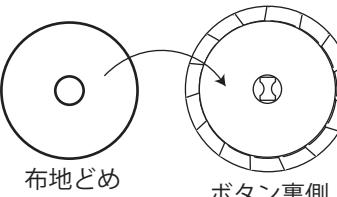


- ③ ボタンに均等にギャザーを寄せるようにして包みます。包み終えたらいったん表向けにして、角が出ないように布地を少し伸ばしながら整えて、きれいな円形にします。ボタンの裏側から目打でボタンのふちのくぼみに布地を押し込んでいきます。



- ④ 布地どめをボタン裏側から
はめて、できあがりです。

※15mm以上のボタンの布地どめは、指で押すだけで取り付けられます。11mm ボタンの場合は布地どめをはめてから付属のパイプでまっ直ぐに押し込んでください。それでもはまりにくい時は木づちか金づちで軽くパイプを叩いてください。

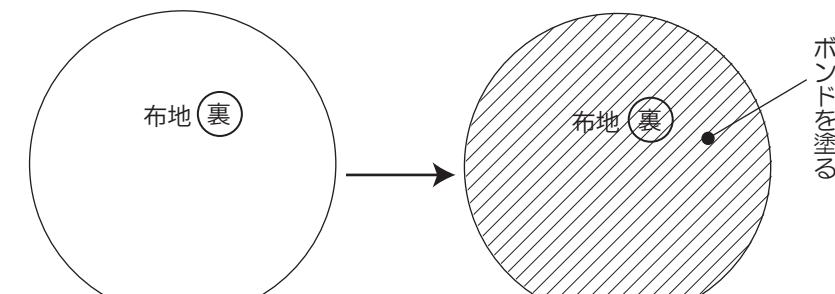


【ふんわりタイプのくるみボタン】

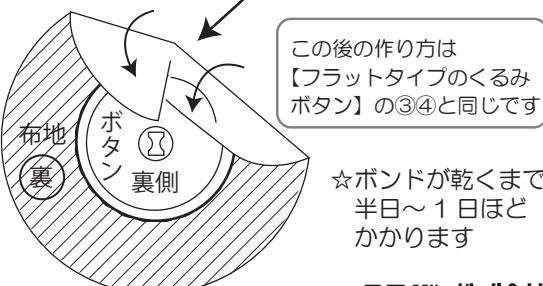
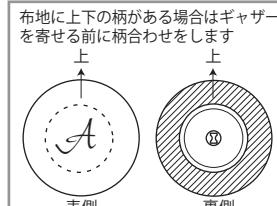
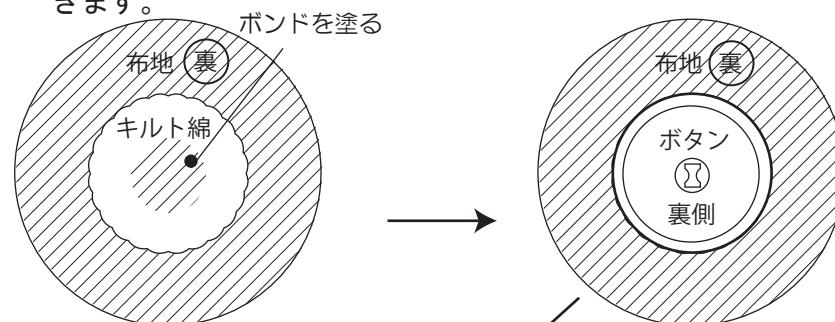
キルト綿を入れると、ふんわり丸い形のボタンになります。18mm 以上がお勧めです。
布地はフラットタイプよりも一回り大きめ
(※「準備するもの」参照) にカットします。



- ① ボタンのサイズに合わせて、必要な分量の布地とキルト綿をカットします。布地を裏向けにして、ボンドを全面に薄く均等に塗ります。（斜線部分がボンドを塗る部分です。ボンドを塗る時は紙を敷いてください）



- ② キルト綿をボンドを塗った布地の中心に置いて、キルト綿の中央に少しボンドを塗ります。キルト綿の上にボタンの本体を裏向けに置き、布地にギャザーを寄せてボタンを包んでいきます。



この後の作り方は
【フラットタイプのくるみボタン】の③④と同じです

☆ボンドが乾くまで
半日～1日ほど
かかります